



ミニ研究会/溶接学会記念基金助成研究テーマの募集

溶接学会では研究活動のより活性化を図る為、従来の特別研究会、アドホック研究会に加え、少人数（7～8名以内）で若手中心（30歳台以下）のミニ研究会を作り、学会資金による研究助成を「MeRIT 21」研究活動活性化プログラムの中で実施する。

<趣旨>

日本を最先端工業立国にする方策として基幹的技術開発を産官学で推進する為に学会の果たす役割は大きい。溶接学会では「MeRIT-21」活動の中で研究活動のいっそうの活性化により、溶接・接合技術の高度化を図り日本では出来ない高付加価値産業を創生する為、自由な独創的研究を支援する。本ミニ研究会はいままでの溶接学会の範疇を超えたあらゆる素材の接合、結合とその分離技術のナノレベルからの解明と構造設計、生産性向上、IT化等の研究テーマを広く公募し、溶接学会活動として公開する。

<ミニ研究会の特徴>

気軽にすばやく簡単に研究 G を作り研究を推進

(1) 研究会の構成＝7～8名以内

比較：特別研究会＝30名以内、アドホック研究会＝15名以内

(2) 若手中心＝研究会の責任主査は30歳台以下とする。

(3) 実施件数＝5件／年程度

<具体的進め方>

1. 研究テーマの募集

本研究に応募される方は平成15年10月31日までに研究計画書（A4一枚＋添付資料）を学会事務局に提出ください。その後研究推進部会で審査、5件程度を選出し該当者に連絡します。選出された研究テーマは溶接学会誌、ホームページ上に公開します。研究期間は原則一年間の時限とし毎年度見直していく予定です。

2. 研究 G の構成と応募資格

主研究者＝応募者は溶接学会正員で年齢30歳台以下とする。研究 G 員として従来の溶接技術領域の幅を広げる意味から溶接学会会員以外の研究者が加わることが望ましい。実施テーマ決定後に研究 G に加わりたい企業、研究者の参加を募り、ニーズとシーズを結びつけることにより、研究領域と研究者を拡大することが望まれる。

3. 研究助成金と溶接学会への研究成果のアウトプット義務

1件につき30万円／年の研究助成を行なう。各研究 G の成果報告としては溶接学会全国大会あるいは溶接学会主催の講演会、セミナー等での研究報告を一年以内に実施することを義務とする。なおテーマ内容、活動構成によっては時限の延長、さらなる溶接学会からの資金援助も可能とする。

<問い合わせ先>

溶接学会／鈴木正文

Tel：03-3253-0488, E-mail：jws-ms@t3.rim.or.jp